

### 平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	駒ヶ根市の鉄道100年記念事業
事業主体 (連絡先)	駒ヶ根市の鉄道100年地域活性化事業実行委員会 (駒ヶ根市赤須町20-1 駒ヶ根市 総務部 企画振興課 電話 0265-83-2111)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	7,511,164円 (うち支援金: 5,991,000円)

#### 事業内容

「飯田線を活かした中心市街地や観光地の活性化」及び「飯田線の利用促進及び啓発」につながるような次のパイロット事業を、商店街、商工業者、観光業者、市民団体、JR、行政等22団体から構成する実行委員会が、市内外の個人/団体と協働で実施。

<事業一覧> 飯田線ふらっとフォームモデル事業、電車で夏祭りにGO!、飯田線秘境駅の旅ご招待セール、著名人と行く飯田線&中央アルプスの旅、プロジェクトンマップピング、鉄道100年記念式典イベント、健康長寿のまち駒ヶ根ウォーキング、電車のお話し会&ミニSL乗車会、飯田線写真展&鉄道模型・グッズ展示会、飯田線運転シミュレーター体験、鉄道100年記念品&タイアップ商品開発



【飯田線秘境駅の旅ご招待セール】

#### 事業効果

①事業への直接参加者は約10,000人であり、これにより中心市街地や観光地への入込客、消費が拡大。併せて、お祭りや売出しなどの既存イベントとの連携開催により、活性化の相乗効果が高まった。

②事業実施による

- ・直接効果…事業による飯田線利用者数約2,000人
- ・間接効果(事業の広報宣伝・啓発活動による効果) …毎年約5%づつ利用者が減少している駒ヶ根駅で、減少幅が縮小したと推測される。

<根拠>普通乗車券売上対前年比が100%を超える月が増加(9月107%、11月101%、12月117%)

#### 今後の取り組み

地域の大切な足であり、賑わいや観光などの重要な資源である飯田線を守り活かす取り組みを、本年度のパイロット事業で効果が高かった事業を発展継続していくと同時に、事業を通じて得たヒントをもとに新たな事業展開をしていく。併せて、飯田線沿線市町村にもこの取り組みを共有し、波及させ、より多くの団体と協働して飯田線を守り活かしていく。

#### 【目標・ねらい】

- ①飯田線を活かした中心市街地や観光地の活性化
- ②飯田線の利用促進及び啓発

#### ※自己評価【A】

【理由】これまで関わりがなかった、薄かった市内外の多くの個人・団体と協働して飯田線を守り活かす取り組みを行い、成果を得た

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある